令和元年度第３回国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会議議事要旨

日　　時　　令和２年1月３０日（木）　１４：３５～１５：４５

場　　所　　【鹿屋体育大学会場】鹿屋体育大学事務局２階　大会議室
【東京会場】東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター２階多目的室４

出 席 者　　宮嶋、荻田、金高、国重、濱田（幸）、前田（明）、山田、森（司）、石田、原田の各委員

欠 席 者　　泉、岩切、上治、小舘、中西の各委員

陪 席 者　　緒方監事

議　　題

１　前回議事要旨確認
原案のとおり確認した。

２　報告事項
なし

３　議題

（1）学長の業務執行状況確認について
事務局から資料３－１～９に基づき、審議するポイントについて説明があった後、種々意見交換を行い、森議長から学長の業務執行状況の確認について諮られ、審議の結果、学長の業務執行状況に問題はないことが確認され、学長へ通知することが了承された。
＜意見＞
- 学長の業務執行状況の確認に伴う質問及び回答書の女性教員等の増加に関する回答については、難しいと思いつつも、もう少し踏み込んだ積極的な回答が欲しかった。
- 本学は小規模大学で、女性教員の比率を上げるのはとても難しい。努力をしていると感じるが、現実的にはなかなか厳しく、具体的な策を講じるのは難しいと思う。
- 教員公募時にも、男女共同参画社会基本法の精神に則り、教員選考を行っている。
- 平成３０年度実績の学長の業務執行状況確認のタイミングが少し遅いのではないか。

（2）次期学長選考スケジュールについて
事務局から、資料４－１～４－５に基づき説明があった後、次期学長選考のスケジュールについて以下のとおり意見交換を行った。
＜意見＞
- 昨年１０月から文科省との対話に向けて第４期の将来構想の検討が始まっており、素案だと既に遅いので、次期学長の任期のみ５年にするのはどうか。次回も今回と同様のス

ケジュールだと、文科省とのヒアリングに対応できず、ほとんど出来上がってきたものに少し次期学長の意見を加えるくらいになってしまうのではないか。

- 企画室会議に現学長が参画するかどうかは、次期学長に選択権を与えてもいいのではないか。
- ６年目の最終年度に次のことを考えすぎている気がするので、現学長には最後までしっかりと務めていただきたい。再任を妨げないようにすればいいのではないか。
- 次期学長が企画室会議に参画する際の立場はどうなるのか。中期目標・中期計画については４年目で評価を受けるので、次の任期のみ４年にして、２年前倒しでもいいのではないか。
- 次期学長がどれくらい企画室会議に関与できるのかを明確にしないといけない。
- どのくらい関与できるのかは企画室会議で議論していく話になると思う。
- 次期学長の考えを拾い上げるのは企画室であるので、現学長が企画室に参画しないほうがいい。企画室が次期学長の考えを考慮して策定していったらいい。
- 任期については、次期学長を１年前に決定し、次期学長が企画室会議に参画するという今回の案がうまくいくのであれば、６年の任期でいいのではないか。
- 今回のみ５年任期で、その次からは６年にする。中期目標・中期計画４年目に次期学長を決定すれば、より中期目標・中期計画策定に関与できる。
- 企画室会議に次期学長が参画できるのであれば、１期６年で問題ないと思う。学長公募時に、企画室会議への関わり方を盛り込むと思うが、外部からでも、どの程度参画できるのか分かるように、「参画する」という部分をもう少し強い表現の「参画できる」と書き、もっと学長が意見を言えるというのを読めるようにすればいい。

なお、これらの意見を踏まえて、資料４－２について、２．次期学長の決定時期は就任１年前とすること、３．企画室会議への関わり方は、「現学長及び」を削除し、次期学長が企画室会議に参画することが了承されたが、１．１期の期間については、継続審議とすることとした。

（3）その他

な　し